

# 情報通信月間参加行事 実施報告書

行事ID	C066	行 事 名	ソフトエラー信頼性登録制度の説明会			
行事形式	3.ICTセミナー等	主催団体	一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会			
開催日	8月28日		開催場所	CIAJ会議室およびリモートによる開催		
行 事 参加者数	23名		Webサイト URL	<a href="https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/103">https://ischannel.ciaj.or.jp/seminars/103</a>		
行事実施概要・アピール等						
<p>中性子線などの放射線によって発生するソフトエラーに対する通信装置の耐性を示す、ソフトエラー信頼性を国際標準に準拠した方法でチェックし、CIAJで登録・公開するため、ガイドラインの制定・他の準備を進めています。</p> <p>本セミナーでは、①ソフトエラーとはどのような現象か、通信装置の試験対策はどのようにするか、②通信装置開発者から見たソフトエラー対策や試験の実際、③制定済みのガイドラインの目的、考え方などの関連事項について、電磁妨害対策技術委員会の配下のソフトエラー信頼性WGのメンバー三名により、装置開発者にわかりやすく説明を実施しました。</p>						
<p>講演1.ソフトエラーについて、岩下委員(日本電信電話株式会社)</p> <p>講演2.ソフトエラー対策と試験の実際(通信装置開発者から見た)、飯塚委員(日本電気株式会社)</p> <p>講演3.CIAJガイドライン(下記)のご紹介、服部WG主査(NTTアドバンステクノロジ株式会社)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトエラーガイドライン(技術基準1 - 信頼性評価方法)</li> <li>ソフトエラーガイドライン(技術基準2 - 試験設備の評価)</li> <li>ソフトエラーガイドライン(技術基準3 - 測定機器の校正及び点検)</li> <li>ソフトエラーガイドライン(運用規定1 - 装置の信頼性登録規定)</li> <li>ソフトエラーガイドライン(運用規定2 - 試験設備の登録規定)</li> </ul>						



服部WG主査



岩下委員



飯塚委員

## ソフトエラー標準化

ITU-Tにてソフトエラーに関する国際標準化完了

ITU-T K.124/JT-K124(概要編) 全体のまとめ

ITU-T K.131(設計編) 対策方法に関する勧告

✓発生率の見積り  
✓対策設計

K Suppl. 11(補足編)  
FPGAのためのソフトエラー対策

ITU-T K.150(デバイス編)  
通信装置のソフトエラー対策に必要な半導体デバイス情報定義

ITU-T K.130(試験編) 試験方法に関する勧告

加速器により通信装置全体へ中性子線を照射しソフトエラーを発生させ処理を確認

ITU-T K.139(基準編) ソフトエラーの影響の低減基準

警報通知  
監視機能  
保守信頼度  
現在の対象装置: リンク、ノード、アクセス

ITU-T K.138(評価編) 基準の評価方法  
ソフトエラー試験結果を元に、基準編の信頼度規定の適合性を評価する方法を記述

NTT

Copyright 2023 NTT CORPORATION